

環境と調和した地域社会の実現のために

現在、わが国では、環境保全への取り組みを通じてより良い地球環境・地域環境を創ることが強く求められております。

環境の世紀といわれる 21世紀を迎え、温暖化ガス削減計画の策定、循環型社会形成基本法をはじめ、リサイクル関連法の整備や廃棄物処理法の改正など、政府においても環境への負荷を軽減する循環型社会の実現に向けた法律や制度の整備が着々と進められております。

環境をめぐる社会的要請を真摯に受け止め、経営の重要な柱として環境保全に取り組むことが、当然の責務として企業に要請されております。

当社は、「次代のエネルギーを考え、北の生活文化を創造する、地域のパイオニアをめざす」という 2010年ビジョンをかかげ、エネルギー事業者として地域環境の保全を理念とした経営を推進しています。

2010年ビジョン実現のための大きな柱として、1995年 5月、当社の第二の創業ともいえる天然ガス転換事業に着手いたしました。苫小牧市勇払地区で産出するクリーンで安全な北海道産天然ガスを、パイプラインを通じて導入し、道央圏のお客様にお届けしております。2005年までに札幌、千歳地区の天然ガス転換を終え、小樽地区につきましても引き続き実施する予定となっております。

函館地区では、2006年の天然ガス転換のために、国内の LNG輸入基地から小型の内航タンカーによる LNGの受け入れを計画しております。

当社は、北海道におけるクリーンエネルギーのパイオニアとして、天然ガスによるエネルギー基盤の充実に努めてまいりました。

これからもコージェネレーションを活用した地域熱供給システムの技術開発、ガスエンジンヒートポンプなど省エネルギー機器の普及、ガスエンジンや燃料電池を利用した家庭用コージェネレーションの開発など、環境負荷の低減につながる技術や天然ガス自動車の普及促進に取り組み、お客様の視点にたったクリーンエネルギーの供給と価値あるサービスの提供を通じて、天然ガスを核とした「総合エネルギーサービス事業」を展開し、環境と人の暮らしが調和した地域社会の構築と、その実現に貢献してまいります。

今後とも当社の環境への取り組みにご理解をたまわりますよう、お願い申し上げます。

2003年 9月

北海道ガス株式会社
取締役社長

前泉 洋三

